

野良猫を卒業して 地域猫になりました

「来たか、来たか。
ほれ、ご飯の時間だよ」

野良猫に餌をやる町の人たちに「野良猫がなついてしまったんですね」と声をかけると、「いやいや、野良猫じゃないよ、地域猫だよ」との返事が。地域猫？聞き馴染みのない言葉にキョトンとしていると、町の人たちは「この猫は野良猫だったけど、今は私たちの町で飼っているんだよ」と教えてくれました。

飼い主のいない猫を減らすための「地域猫活動」を通して、猫と人が仲良く暮らす町がありました。

☎ 生活環境課（内線178）

不妊・去勢手術をした猫は
耳の先がカットしてあるよ



人も猫も幸せなまちを目指して

まちとボランティアグループの取り組み

地域猫活動をしてみませんかー活動の支援

猫の飼い主さんへ

飼い主がわかるようにしてね

室内で飼ってね

不妊・去勢手術で繁殖制限をしてね

岐阜県動物愛護センター(美濃市)
0575-34-0050
岐阜県東濃保健所(多治見市)
23-11111

地域猫活動を支援します
自治会で行う地域猫活動を支援します。
対象 地域猫活動を行おうとする自治会など
内容 地域での説明会、会議などへの参加、
不妊・去勢手術の実施(無料)、猫保護器の貸し出し
問い合わせ
岐阜県東濃保健所(多治見市)
23-11111

猫を保護する保護器の貸し出し
市では飼い主のいない猫を保護するための保護器の貸し出しを行っています。
対象者 市内在住の方
貸出期間 14日間以内
■・☎ 生活環境課(内線178)

地域猫活動とは、飼い主のいない猫を地域住民の合意のもと、不妊・去勢手術を施し、餌やトイレの管理をしながら猫を見守っていく活動です。

まちの困りごと



町で地域猫活動を進めた
井出 千景さん(肥田町)

以前、私たちの町には何十匹の野良猫がいました。かわいいからでしょう、餌をあげる人の姿も時折見られました。餌がもらえらるとなると猫は集まってくるようになり、集まってきたことで、数もどんどん増えていきました。
「野良猫が自宅の庭に入り、ふんをして困った」「猫が増え、猫同士のケンカなどの声がうるさい」「子猫が車にひかれてかわいそう」など、猫が原因の困りごとが絶えませんでした。
猫が増えすぎて町が大変なことになる・・・。危機感を覚えたので、町のみなどと話し合い、ボランティアグループ「しあわせにゃんこ」の協力のもと、飼い主のいない猫を減らす地域猫活動を始めました。

みんなが飼い主です 地域猫活動その② 猫と人が幸せに暮らす



地域猫活動の一員
高木 誠司さん(肥田町)

猫と私たち人間が良い関係でいるために、不妊・去勢手術をした後、町内で協力して猫たちを見守っています。
見守りを続けることで、猫も私たちの地域の一員となりました。不妊・去勢手術をしたおかげで、猫たちも穏やかになり、鳴き声や猫同士のけんかで困ることもほとんどなくなりました。
地域猫としてみんなで世話をしているの、餌をやるのも楽しいですね。餌をあげるだけでは猫も私たちが楽しく暮らせないことを実感しています。「餌をあげる責任」を持たないといけませんね。
町でやっていること
・決められた時間・場所での餌やり
・トイレの設置と管理

野良猫を増やさないために 地域猫活動その① 保護と不妊・去勢手術

私は餌があるところに集まるよ

集まることで出会いの場が増えて、家族も増えるよ

発情期は年に2~4回あるの

メスの猫は生後4~12カ月で子どもが産めるようになるの

1回の出産で4~8匹の子どもを産むのよ

町の方から相談をもらい、猫の数を増やさない方法
不妊・去勢手術を進めることにしました。
ボランティアグループと町の役割
町の役割 猫の数の把握と保護、不妊・去勢手術の手続き
ボランティアの役割 猫保護器の貸し出し、猫の運搬と手術の手続き支援



地域猫活動を支援したボランティアグループ
しあわせにゃんこ 西尾 咲子さん